

(別紙)

平成21年度動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞者

{ 個人 5 名 }
{ 団体 1 }

○ 個人

受賞者	おおや ひでおみ 大矢 秀臣 (66歳) 神奈川県横浜市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 中央環境審議会野生生物部会移入種対策小委員会専門委員、同部会外来生物対策小委員会専門委員、同審議会動物愛護部会臨時委員、同部会ペットフード小委員会専門委員として、動物愛護管理法の改正、ペットフード安全法の制定及び外来生物法の制定等に尽力した。○ 動物の愛護と適正な飼養及び管理について普及啓発するための指導者である「愛玩動物飼養管理士」約9.4万人を養成・輩出した功績は大きい。○ 長期にわたり(社)日本愛玩動物協会の役員として、協会の基盤の確立とその後の発展に寄与した。

受賞者	こいけ ともゆき 小池 智幸 (61歳) 新潟県長岡市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 新潟県動物愛護協会設立時から運営に積極的に参画し、永年協会役員として協会育成強化に尽力した。また、新潟県動物愛護協会中越(長岡)支部の役員として、様々な活動を通じて愛護思想・適正飼養の普及啓発に力を注いだ。○ 中越沖地震の際、新潟県が行った被災動物の一時預かり事業にボランティアとして献身的に貢献した。

受賞者	すぎやま まさひろ 杉山 公宏 (75歳) 静岡県熱海市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 大学在職時には、教育・研究などの業務に加えて、各種動物の病理学検査による病因究明に尽力した。○ 総理府動物保護審議会委員並びに環境省中央環境審議会動物愛護部会臨時委員として、動物愛護管理に係わる審議に参画し、動物愛護管理全般の推進のため多大な貢献を果たした。○ (財)日本動物愛護協会理事として、協会広報誌編集委員長、動物愛護親子教室検討委員長を務めるほか、調査研究事業研究代表者として各種研究に尽力した。

受賞者	ふかい かつみ 深井 克巳（70歳） 長野県諏訪郡下諏訪町
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県動物愛護会発足時より役員として会の運営、活動の方針等を計画立案するなど主導的立場で尽力し、動物愛護会の基礎を築いた。 ○ 昭和56年に動物愛護会湖北支部を発足させ、動物愛護思想の普及啓発を行っている。また、平成14年の諏訪支部との統合を中心的な立場で取りまとめ、諏訪郡内の組織構築と基盤を作っている。 ○ 長野県が主催する動物愛護週間、動物の正しい飼い方普及月間、動物愛護フェスティバル等の行事にも積極的に取り組む姿勢は多大な功績に値する。

受賞者	もりた とよこ 森田 トヨ子（70歳） 神奈川県横浜市
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア組織「新しい飼い主を探す会」を有志3名で立ち上げて、里親探しを懸命に続け、これまでに犬猫約5,000匹以上の命を助けた。横浜市などと共同で地域の催事などの際にブースを開設し、不妊去勢手術や適正飼育などの啓発活動を実施している。 ○ 「動物愛護推進員の歩み」展示会を開催したり、推進員の推薦に当たるなど、横浜市や区に協力して動物福祉の理念の実践、啓発に尽力している。 ○ 現在、日本動物福祉協会横浜支部副支部長として、自宅の一部を提供するなど、献身的な努力を積み重ねている。市の動物愛護センター構想(来年度設立予定)に全面協力して、ボランティアの組織化を推進するなど、昭和50年以来一貫して地域の動物愛護活動に貢献している。

○ 団体

受賞者	社団法人熊本県獣医師会菊池支部 熊本県菊池市
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本県において他支部に先駆けて動物愛護と適正飼養に関する普及啓発活動に積極的に取り組んでいる。昭和61年に県内で初めて動物愛護まつりを開催し、家庭犬のしつけ教室やマナー講座、動物愛護に関するパネルポスター展示等を実施。現在は、多くのボランティア（小学校、高校、大学等）スタッフが参加し、動物愛護管理の普及啓発に貢献している。 ○ 平成14年度から学校飼育動物の適正飼養に関し行政と連携し、学校への支援を始めており、専門家としての積極的な取り組みが、動物愛護管理の推進に今後とも大いに期待できる。

注) 個人の受賞者の年齢は、平成21年9月25日現在。